

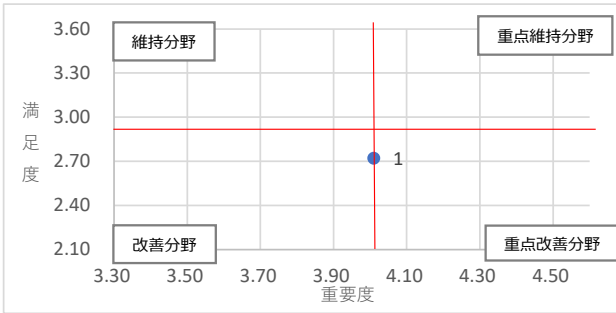
基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	地域公共交通推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、事業者	目的	路線バス・コミュニティバス等の再編・見直しや新たな交通手段の検討など、日常生活の移動を確保する。				
事業概要	二宮町地域公共交通活性化協議会を中心に交通施策の検討、検証、事業展開を協議し、公共交通の確保・改善に取り組む。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	地域公共交通推進事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算見込	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	105	84	91			
	概算人件費	2,857	1,476	2,861			
	トータルコスト	2,962	1,560	2,952	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0			
	その他	0	0	0			
R 6 概算人件費	正規職員	0.31 人		1,476 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,476 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	コミュニティバスの乗車人員【交通計画】(人/日)	計画値	92.6	101.1	109.6	118.1	126.6
		実績値	97.0	119.6			

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域公共交通の確保	4.01	2.72
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・関係者との調整や、町民アンケート、地域公共交通活性化協議会での協議を経て、新たに「二宮町地域公共交通計画」を策定した。 ・地域の通いの場に出向き、住民に対し地域公共交通について説明するとともに、コミバスの利用促進のための案内を実施した。（全5回実施）
	課題	・計画上で指定した交通不便地域への新たな交通施策について、地域と協議しながら検討する必要がある。 ・庁舎の移転に向けて、コミバスルートの再編等を検討するとともに、路線バスの運行形態について事業者と協議を進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・昨年度から引き続き、地域の通いの場にて地域公共交通に関する説明や、町コミュニティバスの利用案内を実施した。（全9回実施） ・町コミュニティバスの夏季期間（7月から9月）における中学生以下の小人運賃の無料化、また、11月17日に開催した湘南ふるさとまつりにて臨時運行を実施することで、利用促進とイベント等における移動手段の確保を図った。
	課題	・公共交通カバー圏域外にあたる地域と協議を実施したが、具体的な対応策を決定するまで至っていないことから、引き続き地域と調整しながら福祉的視点も含めた検討を行う。 ・昨年度から引き続き、庁舎移転を見据えたコミバスの見直しを検討すると同時に、今後、運転士不足等による民間路線バスの減便等が見込まれることから、対象となる運行地域における対応策の検討や交通事業者との協議を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	広報活動事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	主に町民	目的	各種媒体を活用し積極的な町情報の発信に努める。				
事業概要	広報にのみやの発行、町ホームページの更新・維持管理、広報板管理を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	03	大事業	広報活動事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	6,734	6,797	6,840			
	概算人件費	5,944	6,741	6,741			
	トータルコスト	12,678	13,538	13,581	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0			
	その他	1,150	0	0			
	R 6 概算人件費	正規職員	1.60 人		6,741 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			6,741 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町ホームページのアクセス件数 (件)	計画値	845,738	660,000	670,000	680,000	690,000	700,000
		実績値		677,239	817,784			
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・広報紙にID検索を表示するなど、紙媒体とホームページの連携性向上を図った。 ・広報紙・ホームページともに、より分かりやすい情報発信に努めた。
	課題	・新型コロナウイルスのまん延に伴い一時的に上昇していたアクセス件数と比較すると実測値が下がってしまった。（コロナ禍前の平成30年度の数値と比較すると上昇している）
今年度	成果（実績）	・前年度は、アクセス件数の計測方法を変更したことで実測値が下がった可能性があったが、LINE上で広報紙を公開したほか、広報板等掲示の申込やメッセージ配信を行ったことで実測値が上昇した。
	課題	・広報紙のページ数の縮小を進めるが、必要な情報は引き続き、広報にのみやに掲載しつつ、ホームページやLINEなどを活用しながら、情報発信を強化する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

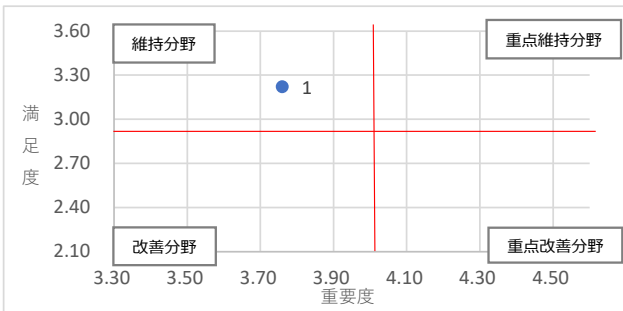
基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	「にのみやLife」移住・定住・交流PR事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町内外の住民	目的	移住定住の促進を図るため、町の魅力を発信する事業を推進する。				
事業概要	県が開催する移住セミナーへ参加のほか、町独自で移住相談会を開催するなど、移住希望者へ情報発信を図る。また、移住者同士の交流も図り定住・交流を促進する。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	03	大事業	「にのみやLife」移住・定住・交流PR事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	127	111	112			
	概算人件費	2,083	2,324	2,324			
	トータルコスト	2,210	2,435	2,436	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.54 人		2,324 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,324 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	町HPの「にのみやLife」の閲覧数【戦略】（件）	44,474	142,000	144,000	146,000	148,000	150,000
			140,542	163,789			
②	二宮町の社会移動数【戦略】（人）	+57	+60	+65	+70	+75	+80
			+80	+67			

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・オンライン移住相談会を毎月開催しているほか、令和5年度は初めて町単独の移住相談会を東京会場で開催した。 ・定住・交流事業として、移住者を集めた交流会『二宮町いいところ発見会』を開催した。
	課題	・移住相談会等に参加した方の、その後の移住情報を画一的に把握する方法がないので研究する必要がある。（現状は次年度当初のアンケートや転入手続き時アンケートで補完している）
今年度	成果（実績）	・オンライン移住相談会等は新たにLINEによる周知や申込を開始した。 ・二宮町公式YouTubeにおいて、移住プロモーションのショート動画を公開した。
	課題	・オンライン移住相談会等であった相談QAを「にのみやLife」に掲載するなど、ページを閲覧することで情報が得られるよう、内容を充実させる必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

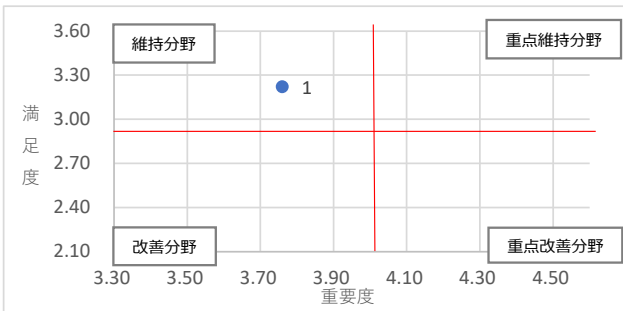
基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	まちづくり移動町長室の実施				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民	目的	町が抱える課題について、行政と町民・地域が一体となって考え、対話によるまちづくりの促進を図る。				
事業概要	各地区の意向を確認し、場所と日程を調整のうえ地区別まちづくり移動町長室を開催する。 特定のテーマ課題を共有する団体からの呼びかけを受け、テーマ別まちづくり移動町長室を開催する。						

事業予算							
会計		款項目			大事業		
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算見込	R 8 事業費	R 9 事業費	
	直接事業費	0	0	0			
	概算人件費	896	653	653			
	トータルコスト	896	653	653	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.13 人		653 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			653 千円			

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	まちづくり移動町長室参加者数（人）	計画値	100	110	120	130	140
		実績値	109	151			
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広報・広聴の充実	3.76	3.22
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	町内すべての地区を対象として、3か所に集約して開催したほか、単独地区、団体などを対象に開催し、多くの方に参加いただけた。
	課題	広報紙やホームページなどでも積極的に周知し、地域役員だけでなくより多くの町民に参加を促す必要がある。
今年度	成果（実績）	・町内すべての地区を対象として5か所で開催したほか、2団体を対象に開催し、多くの方に参加いただいた。
	課題	・地区により参加人数にばらつきがあるなど、多くの町民に参加を促せるよう周知をする必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	まちづくり総合調整事業（総合計画策定推進事業）				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●		
事業対象	全体	目的	総合計画の効果的・効率的な推進を図るため、行政評価に基づく進行管理を実施する。				
事業概要	前期基本計画の推進及び、行政評価による進行管理を行う。また、次期総合計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	0	86	87			
	概算人件費	1,444	1,267	1,582			
	トータルコスト	1,444	1,353	1,669	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 6 概算人件費	正規職員	0.26 人		1,267 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,267 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	事業の統廃合数【行革】（事業）	計画値	2	4	6	8	10
		実績値	1	1			
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・第6次二宮町総合計画のもとでは初めてとなる実施計画を策定し、令和9年度までの各事業の方向性を示した。 ・新しい計画の開始に伴い、行政評価における評価体系や評価様式等の見直しを実施した。
	課題	・行政評価の結果等を基に、事業の見直しに繋げることを検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・新たな評価体系による令和5年度実績に対する行政評価を実施した。 ・外部の有識者等で構成される政策評価委員会による評価を実施し、委員会内で挙げられた意見等を担当課と共有し、課題に対する対応を検討した。
	課題	・令和10年度からを計画期間とする後期基本計画の策定に向け、総合計画に統合可能な計画の研究や、評価事務等の効率化を目指し、より、効果的で各課への負担等を軽減できる計画のあり方を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	まちづくり総合調整事業（総合戦略推進事業）				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●		
事業対象	全体	目的	国・県の総合戦略を勘案し策定した「二宮町人口ビジョン」並びに「二宮町総合戦略」に基づき、効率的・効果的な行政運営を図る。				
事業概要	二宮町総合戦略の推進及び、内部・外部評価による進行管理を行う。						

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	07	大事業
						まちづくり総合調整事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費
	直接事業費	106	86	87		
	概算人件費	1,444	1,267	1,582		
	トータルコスト	1,550	1,353	1,669	0	0
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
R 6 概算人件費	正規職員	0.26 人		1,267 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,267 千円		

成果指標		基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	「住み続けたいと思う町民の割合」【戦略】（%）	計画値	86.8	87.2	87.4	87.6	87.8
		実績値		80.1	78.9		88
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・第2期二宮町総合戦略の実績に対し内部及び外部評価を実施した。 ・新しい計画の開始に伴い、総合戦略実績における評価体系や評価様式等の見直しを実施した。
	課題	・国庫補助金等における活用の検討状況や実績に対する評価結果を基に、必要に応じて計画の改定等を検討する。
今年度	成果（実績）	・新たな評価体系による令和5年度実績に対する評価を実施した。 ・外部の有識者等で構成される政策評価委員会による評価を実施し、委員会内で挙げられた意見等を担当課と共有し、課題に対する対応を検討した。
	課題	・政策評価委員会より、一部KPI等において、進捗状況の測定として不十分な指標が見受けられるとの指摘があったため、計画に位置付けているKPIの見直しを検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

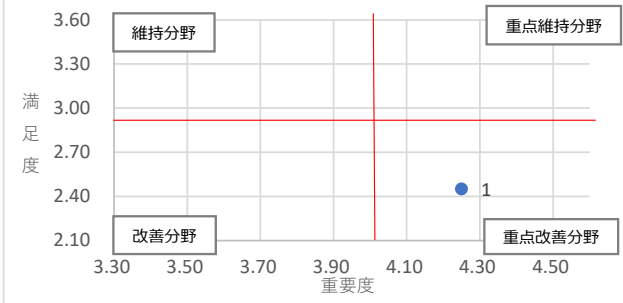
基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	行政改革推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
			●		●	●	
事業対象	町民、職員	目的	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。				
事業概要	第 6 次二宮町行政改革大綱・推進計画の推進及び、進行管理を行う。また、次期行政改革大綱・推進計画の策定に向け準備を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	まちづくり総合調整事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	0	0	0			
	概算人件費	798	1,023	682			
	トータルコスト	798	1,023	682	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.23 人		1,023 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,023 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	公共施設の総延床面積(㎡)	68,729.08	68,589.08	68,449.08	68,309.08	68,169.08	68,029.84
	【戦略】(施設)		68,607.07				
②							

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・新たな行政改革大綱を基に10の個別項目を設定し、令和9年度までの具体的な取り組み事項と目標を定めた第6次二宮町行政改革推進計画を策定した。
	課題	・今後、推進計画に定めた目標を達成するため、各課と連携しながら業務の効率化等の検討を進める必要がある。
今年度	成果（実績）	・現時点の状況を踏まえ、第6次二宮町行政改革推進計画に位置付けるKPIの見直しを実施した。
	課題	・引き続き、第6次二宮町行政改革推進計画に基づき事業を進める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	広域行政推進事業				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	県・近隣自治体	目的	広域連携のスケールメリットを活用した、行政課題の解決や業務の効率化などを図る。				
事業概要	広域的な行政施策や取組みを必要とする行政課題等の情報交換及び連絡調整を図り、広域行政を推進する。						

事業予算							
会計	01	款項目	02	01	07	大事業	広域行政推進事業
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	13	12	22			
	概算人件費	644	800	839			
	トータルコスト	657	812	861	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.19 人		800 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			800 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	新たに広域で連携する事業数	計画値	検討	検討	検討	検討	検討
		実績値	0	0			
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	広域連携の推進	4.05	2.83
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・ごみ処理広域化（平塚市・大磯町） ・共同消防指令センター（平塚市・大磯町） ・消費者生活センター（平塚市・大磯町） ・公共施設の相互利用（平塚市・秦野市・伊勢原市・小田原市・大磯町・中井町）
	課題	・直近で新たな広域連携事業が見出せていないため、引き続き近隣自治体の動向や社会情勢も見定めながら、スケールメリットを生み出せる事業の研究を続ける。
今年度	成果（実績）	・令和6年度において新たな広域連携事業はなかったが、既存の事業については順調に事業を運営した。
	課題	・町が抱える課題のうち、広域で解決すべきものがないか検討を続けるとともに、引き続き近隣自治体の動向や社会情勢も見定めながら、スケールメリットを生み出せる事業の研究を続ける。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持

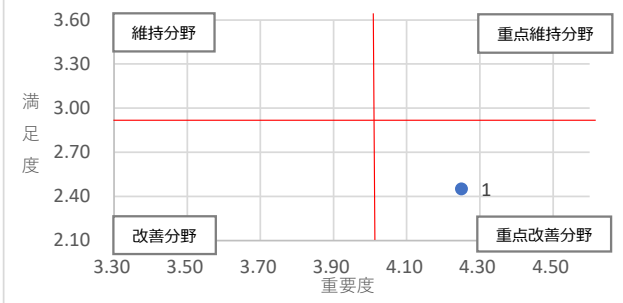
基礎評価シート（令和6年度 実績）

予算等事業名	産学連携				所管課	企画政策課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●		
事業対象	町民、事業者、学校	目的	企業や大学等の専門性や枠組みに囚われることのない柔軟な発想を生かした効果的・効率的なまちづくりを進める。				
事業概要	大学との連携事業を推進するとともに、新たな連携の可能性を検討する。						

事業予算							
会計		款項目			大事業		
		R5 決算額（千円）	R6 決算額	R7 決算見込	R8 事業費	R9 事業費	
	直接事業費	0	0	0			
	概算人件費	395	345	333			
	トータルコスト	395	345	333	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R6 概算人件費	正規職員	0.08 人		345 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			345 千円			

成果指標		基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	連携事業数（広域連携・産官学連携）【行革】	計画値	2	3	4	5	6
		実績値	2	2			
②		計画値					
		実績値					

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	行財政改革	4.25	2.45
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・神奈川大学において、町の課題をテーマにした町職員による出前授業を実施したほか、公務員を目指す学生等を対象に行政の取り組みを紹介した。 ・協定を締結している郵便局と協議を実施し、相互で連携可能な取り組みを検討した。
	課題	・事業連携が業務の効率化等につながるよう、連携事業の整理とともに連携の在り方を検討する必要がある。
今年度	成果（実績）	・神奈川大学での出前授業を実施した。令和6年度は町の学校教育をテーマに講義を実施し、学生からテーマに対する意見を聴取した。 ・「地域ブランド創造プロジェクト」として、町、株式会社ファームビレッジ湘南、株式会社ユニバーサル農場、産業能率大学が連携し、湘南オリーブを使ったメニュー開発の発表会・試食会などを実施した。
	課題	・引き続き、業務の効率化等に資する連携事業を検討する。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	適当	方向性	現状維持